

ビジティング・リサーチャー(VR)論博プログラム ブータンから初来日！



10月30日、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所ビジティング・リサーチャー(VR)論博プログラムは2人目のVRをお迎えしました。デチェン・ドマ(Dechen Doma)先生の母国ブータンはソーシャルワーク教育プログラムがありません。デチェン先生はブータン初の社会福祉の博士号取得者となるべく2年間日本に滞在し、論文作成を続けられます。デチェン先生はオーストラリアでカウンセリングの修士号を取得、ブータン王立大学サムゼ教育校(Samtse College of Education, Royal University of Bhutan)で上級講師として勤務されています。先生の論文テーマは「A humanistic and Buddhist Approach to Social Work in Dealing with Drug Addiction among Youth in Bhutan (ブータンにおける若年薬物中毒者に対するソーシャルワーク、人間学的仏教学的からのアプローチ)」です。

アジア諸国のソーシャルワーク大学教員養成ニーズはますます大きくなっており、アジア圏域のソーシャルワーク教育機関の大きな期待が淑徳大学に寄せられています。

アジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟（APASWE）、淑徳大学の貢献に表彰、感謝の盾が授与される



9月28日中国で開催された APASWE 総会において、今日までの淑徳大学の協力と貢献に特別の感謝の意が表され、会長より盾が贈呈されました。APASWE は 1974 年に設立以来、アジア太平洋地域内主要ソーシャルワーク大学を網羅している連盟です。淑徳大学は、永年 APASWE の会員であり続けるだけでなく、特に 4 年前のアジア仏教社会福祉学術交流センターの設立以来、APASWE 会長オフィスを支え、また現アジア国際社会福祉研究所長が前会長(理事)として組織運営に尽力してきました。

現在もアジア国際社会福祉研究所のもと、ビジティング・リサーチャー論博プログラムをはじめ共同調査研究、国際フォーラム等を実施しており、今回の表彰は、アジア太平洋地域内ソーシャルワークの研究教育の前進への協力と貢献を続ける淑徳大学への海外からの評価といえます。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。

